

# 「君もガリレオ！」プロジェクトの紹介

## ～科学的な発見の喜びを世界中の子どもたちと～

縣 秀彦(国立天文台)

国立天文台では、2009 年以降、「君もガリレオ！」プロジェクトを実施している。「君もガリレオ！」は、IYA2009(International Year of Astronomy 2009:世界天文年 2009)主要企画の1つである「The Galileoscope」の関連企画であり、400 年前、ガリレオ・ガリレイが初めて宇宙を観察したのと同じ口径 4cm 程度の組み立て式望遠鏡をアジアを始め世界各国に配布し、ワークシートを活用した天体観察により、世界中の子どもたちにガリレオ等先達が体験した驚きや発見の追体験をしてもらおうという、日本発の国際天文教育プロジェクトである。日本ユネスコ委員会からの支援の下、毎年、各国で「君もガリレオ！」ワークショップを開催し、ワークショップ実施後も、各国と連絡を取り継続的な事業展開を目指している。詳細は <http://www.kimigali.jp/> を参照。

### 1. 「君もガリレオ！」プロジェクトとは？

「君もガリレオ！」プロジェクトでは、1609 年にガリレオが初めて月を観察したのと同程度の口径の小型望遠鏡を安価に制作して、アジアを中心とした各国の子どもに配布し、かつてガリレオが体験した驚きや発見の追体験をめざしている。また、望遠鏡の提供だけではなく、それを活用した観察プログラム(ワークシート等)の提供と指導者向けの研修会(ワークショップ)を開催している。

日本にて販売されている口径 4cm、組み立て式望遠鏡 2 種類(オルビス社製「スピカ」および星の手帖社製)を世界中に安価で配布し、世界中の子どもたちにガリレオが体験した驚きや発見の追体験をもらおうというのが、世界天文年 2009 日本委員会の主要プロジェクトの一つである、「君もガリレオ！」プロジェクトである。このプロジェクトは世界天文年(IYA)本部企画の“The Galileoscope”の関連企画でもある。「君もガリレオ！」プロジェクトでは、望遠鏡の提供だけではなく、それを活用した年間の観察プログラムを提供している。本プロジェクトのウェブページより、観察用のワークシートや観察手引きをダウンロードして、個人やグループで木星、金星、月、天の川、アンドロメダ銀河などを観察し、2009 年度は、観察結果をプロジェクト事務局に送って頂くことでウェブに皆さんのレポートを掲載し、参加証等を提供した。2010 年以降は引き続き国内で実施するとともに、日本ユネスコ委員会からの支援の下、インドネシア、モンゴル、タイそれぞれの国内各地にて大規模なワークショップを実施してきた。

### 2. ユネスコ委員会支援による海外での活動のようす

#### 2.1. インドネシアにて

インドネシアでは、バンドン工科大学ボスカ天文台の協力を得て、インドネシアのスタッフ計 7 名と日本からのスタッフのべ 7 名が力をあわせて、インドネシアの各島の小・中・高校の教師向けに指導者講習会を、国立ジャカルタ第 38 高校、ジョグジャカルタ州立大学(以上ジャワ島)、マタラム大学(ロンボク島)、ロツコン・St. ニコラウス高校(スラウェシ島)、GRAHA テクノロジーセンター(スマトラ島パレンバン)の 5 カ所にて 2011 年 2~3 月に実施し、合計 281 名がワークショップに参加した。また、ワークショップ実施に先立ち、君もガリレオ！ウェブページを新たに立ち上げ、学習用ワークシート7種類の日本語、英語、インドネシア語版を制作した。

## 2.2. モンゴルにて

モンゴルでは、2011年6月にモンゴル国立大学と協力しワークシートのモンゴル語化を進めると共に、ウランバートル、ホブド、ミャンガド村、ゴビ砂漠(マンダルゴビとダランザドガド)等でワークショップ等を実施し、望遠鏡制作のワークショップに289名、観望会に約600名が参加した。そして現在も三脚付きの組み立て式望遠鏡400台と小型赤道儀式望遠鏡3台を用いて、教員向けの研修や授業での利用が行われている。

## 2.3. タイにて

タイでは、2012年11～12月に、ウドンタニ、チェンマイ、ソンクラー他計5か所でワークショップをNARITと協同で実施し、望遠鏡制作のワークショップに411名が参加した。



写真1 タイ・ソンクラーでのワークショップのようす

## 3. 今後の予定

国内外において、継続して「君もガリレオ！」プロジェクトを実施していきたい。国内でもなるべく多くの場所以で同様のワークショップを開催したいと考えている。



写真2 国立天文台三鷹で行われたワークショップのようす